

登録橋梁基幹技能者 2025年度試験問題

[解答作成の注意事項]

1. この試験問題は、四肢択一式 50 問で全て必須です。問題ごとに正解は1つしかありません。1 問につき 2 つ以上解答すると、その問題の解答は無効になります。
2. 解答は、**解答用紙に記入**してください。
3. 試験問題用紙及び解答用紙の所定欄に、受講番号を記入してください。（氏名を書く欄はありませんので、受講番号を間違えないように注意してください。）
4. 解答記入は鉛筆を使用し、訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから新しく記入してください。

[その他の注意事項]

1. 試験係員の「始め」の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 「始め」の合図があったら、ただちにページ数の不足および印刷の不鮮明なところがないことを確かめてください。もしあったら取り替えますので、手をあげて試験係員に申し出てください。
3. 試験問題の内容についての質問には、お答えできません。
4. 式あるいは文章等を記憶する機能を有する計算機機器（例えば、関数電卓、ポケットコンピュータ、スマートフォン、携帯電話、電子手帳等）は、使用を禁止します。
5. この試験の解答時間は、「始め」の合図があってから **1 時間 30 分**です。**試験開始後 1 時間および終了前 10 分間は退場できません。**
6. 試験開始後 1 時間から試験終了前 10 分までの間に途中退場を希望する人は、解答用紙および試験問題用紙を机の上に裏返しにして置き、手をあげてから、試験係員の指示を得て、静かに退場してください。ただし 16 時 30 分から終了式を行いますので、時間になったら席についてください。
7. 「終り」の合図があったら、ただちに解答の作成をやめ、解答用紙を机の上に裏返しにし、試験係員が回収するまでそのまま待っていてください。試験終了後は試験問題も回収します。

受講番号
2025-

安全管理の問題

安全管理に関する次の1)～5)の文章で、()に当てはまる語句のうち正しいものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- 1) 生産活動に従事していた労働者が被災した災害を労働災害といい、単なる物的損傷のみの場合は含まず、労働者の生命および身体にかかわる災害に限られる。労働災害としては、死亡・負傷はもちろん、有害物質に長期間曝露されることにより生じる()や職業性疾病も含まれる。
- ① 健康障害
 - ② 薬物中毒
 - ③ 環境破壊
 - ④ 適応障害
- 2) 労働災害に伴う事業者の四重責任のうち刑事責任として、()にもとづく、事業者に対する危険防止措置、管理等の措置違反および従業員の違反行為に対する罰則、業務上過失致死傷（刑法第221条）等刑法による罰則等がある。
- ① 職業安定法
 - ② 建設業法
 - ③ 労働安全衛生法
 - ④ 道路交通法
- 3) 平成18年から、建設業の事業者は危険性又は()等の調査（リスクアセスメント）を実施し、その結果に基づいて検討した災害防止対策を実施して、未然に労働災害を防ぐことが求められるようになった。
- ① 安全性
 - ② 生産性
 - ③ 経済性
 - ④ 有害性

4) ガス溶接等の業務に使用するアセチレンガス・LPG等の容器については、
() 以下に保たなくてはならない。

① 25℃

② 30℃

③ 40℃

④ 50℃

5) 鋼橋の架設において、金属性部材により構成されているもので、その高さが5m以上
または橋梁の支間が30m以上である部分の作業には、() を選任しなくては
ならない。

① コンクリート橋架設等作業主任者

② 建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者

③ 足場の組立等作業主任者

④ 鋼橋架設等作業主任者

6) 危険予知活動（KYK）の留意事項に関する記述について、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 危険項目が多く出た場合は、重要なものに絞る。
- ② 前日と同じ作業であっても、始めから行う。
- ③ 一日のなかで作業内容が変更した場合も、一度決めた実施事項等は絶対に変更しない。
- ④ 黒板等を書く内容は要領良く、短くまとめる。

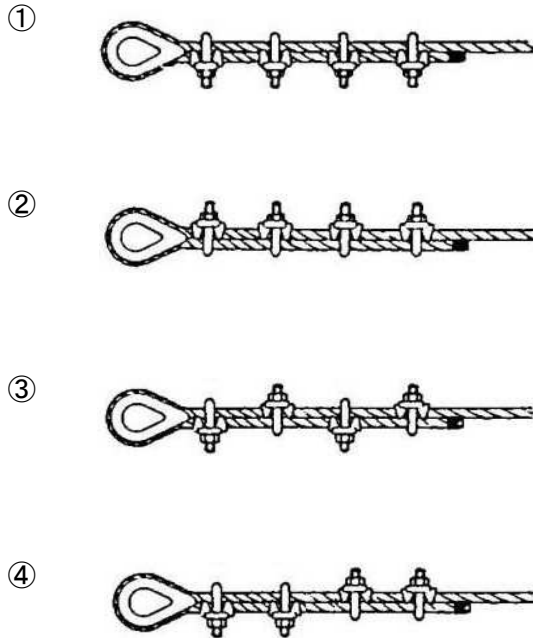
7) 足場からの墜落防止のための措置に関する記述について、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 高さが2 m以上の作業床については、床材と建地の隙間を12 c m未満とする。
- ② 作業の必要上臨時に手すり等を取り外した際は、その必要がなくなった後直ちにに取り外した設備を現状に戻す。
- ③ 足場の組立て・解体または変更の作業に係る業務を行わせる作業者には、所定の特別教育を実施しなければならない（地上又は堅固な床上における補助作業の業務を除く）。
- ④ 足場材の緊結、取り外し、受け渡し等の作業においては、安全帯を安全に取付けるための設備等を設け、かつ、労働者に安全帯を使用させなければならない。
但し、墜落防止のための防網を設置した場合はこの限りではない。

8) 2019年2月1日に施行された、墜落制止用器具（安全帯）に係る安全衛生法令の改正に関する記述のうち、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 高さが2 m以上の箇所でフルハーネス型墜落制止用器具を使用させる場合は、作業内容・条件に係らず、すべての労働者にあらかじめ所定の特別教育を受けさせなければならない。
- ② 墜落制止用器具は、着用者の体重及びその装備品の重量の合計に耐えるものでなければならない。体重が85kgを超える労働者であれば、「100kg用」を使用しなければならない。
- ③ 柱上作業等で使用されるU字つり胴ベルトは、墜落制止用器具としては認められないため、2 m以上の高所作業で使用する場合は、フルハーネス型等の墜落制止用器具と併用することが必要となる。
- ④ 墜落制止用器具は「フルハーネス型」が原則となるが、フルハーネス型の着用者が墜落時に地面に到達するおそれのある場合（高さ6.75m以下）は、「胴ベルト型（一本つり）」を使用することができる。

- 9) ワイヤー端末をクリップ止めする場合、正しい止め方、適切なトルクで締め付けること、また、適切な増し締めの実施等が必要であり、誤った取り付け方をした場合、ロープが抜けて大事故につながる恐れがある。以下の図のうち、クリップ止めの方法として正しいものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。



- 10) 「鋼橋架設工事における墜落事故防止対策（日本橋梁建設協会）」による、橋梁架設工事における墜落事故の様態に関する記述のうち、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 足場の組立・解体時の事故が最も多く、墜落事故全体の3分の1程度を占めている。
- ② 墜落事故のほぼ全てのケースで、安全带・親綱等は適切に使用されていた。
- ③ 被災者の入場後日数については、個々の事故によってバラつきがあるものの、25日以内のケースが、極めて高い比率を占めている。
- ④ 被災者の年齢については、全体では10代から60代まで幅があるものの、足場の組立・解体時では、特に35歳以下の若い作業員に集中している。

架設概論の問題

- 11) 遵守法令における届け出先について、（ア）、（イ）に当てはまる組合せで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。

項 目	関係法令	内 容	申請限度
施工計画書 →労働基準監督署への届け出	労働安全衛生法88条 労働安全衛生規則90条	・ 工事計画書 市街地工事：支間30m以上 山岳地工事：支間50m以上 地山の掘削（深さ10m以上）	作業開始 （ア）
建設物、機械等設置届 →労働基準監督署への届け出	労働安全衛生法88条 労働安全衛生規則87条	・ 吊足場、枠組み足場 （高さ10m以上） （組立～解体の期間60日以上）	作業開始 （イ）

解答群

- ① ア：14日前 イ：14日前
- ② ア：14日前 イ：30日前
- ③ ア：30日前 イ：30日前
- ④ ア：30日前 イ：14日前
- 12) I 桁一本を吊上げ架設するときは、横倒れ座屈に留意する必要がある。横倒れ座屈の判定基準として、（ア）、（イ）に当てはまる組合せで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。

中間部

$$l_s / b_u \leq \quad (\text{ア})$$

片持部

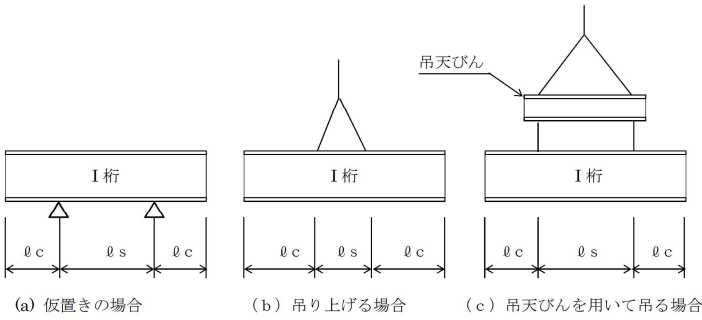
$$l_c / b_l \leq \quad (\text{イ})$$

ここに、

b_u : 上フランジ最小幅

b_l : 下フランジ最小幅

$l_s \cdot l_c$: 右図に示す支持間隔



解答群

- ① ア：35 イ：35
- ② ア：35 イ：70
- ③ ア：70 イ：35
- ④ ア：70 イ：70

13) ベント工法における留意事項について、次の記述のうち誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 解体は常に組立と反対の方法で行う。
- ② 地耐力が均等に得られるように整地する。
- ③ 架設途中にベント基礎を確認する。
- ④ 長尺ベントは曲げ座屈しないよう検討する。

14) 相吊り架設に関する記述について、次の記述のうち誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 作業指揮者の直接指揮のもとに施工する。
- ② 吊り部材の重心位置が偏心する場合、2台のクレーンによる相吊り架設では各吊点の設計吊荷重を同値としてよい。
- ③ 相吊りに使用する移動式クレーンの定格総荷重は、「 $\text{定格総荷重} \times 0.75 \geq \text{設計吊荷重}$ 」とする。
- ④ 相吊りと吊り走行はともに「原則として禁止」の事項であるが、相吊り施工＋吊り走行の組合せは厳に避けるべきである。

15) 送出し工法における牽引方法について、次の記述のうち正しいものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 自走台車の速度は1.5～2.0m/min程度であり、軌条延長範囲まではノンストップで送り出すことができるため、桁先端到達までに時間制限がある場合に最適である。
- ② 送出し装置による送出しは、ジャッキの盛替えが不要であるため連続的に桁を送り出すことができる。
- ③ ワイヤ定着式ジャッキによる送出しは、定着するアンカー一部の構造が簡易であることが利点である。
- ④ 自走台車による送出しは、桁先端到達後に自走台車へ作用する反力が小さくなるため、自走台車を盛り替えながら送り出していくことができない。

16) 「鋼橋架設工事の事故防止対策（日本橋梁建設協会）」による、ベント等の支持・転倒・滑動に対する安全性の照査について、次の記述のうち誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① ベント等の基礎形式は、地盤に関する調査結果に応じて、敷き鉄板基礎、コンクリート基礎、地盤改良、杭基礎等、適切な工法を選定する。
- ② 桁載荷時のベント安定計算は橋軸直角方向に加え橋軸方向についても、照査水平荷重を用いて実施する。
- ③ 橋桁の支持位置（載荷位置）はベント等の重心位置から偏心させないように設計・施工することを基本とし転倒に対する安全性照査を行う。
- ④ 下フランジの勾配など、ベント等の支持位置における個別要因による橋軸方向の水平荷重は影響が少ないので考慮しない。

17) 「鋼橋架設工事の事故防止対策＜追補版2＞（日本橋梁建設協会）」における、サンドル降下作業の留意点について、次の記述のうち誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① ジャッキは、橋桁やセッティングビームなどに局部座屈が生じないように計画で定めた適切な位置で使用しなければならない。
- ② 2点支持の場合は、両支点同時に橋桁をジャッキで降下してもよい。
- ③ 一橋脚上で複数のジャッキを用いて降下作業を行うときは、降下速度を同一にしなければならない。
- ④ 1箱桁で降下するのではなく、可能な限り箱桁同士を横桁でつなぐことで2箱桁とした状態で降下することが望ましい。

18) ケーブルエレクション工法の留意点に関する記述について、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 現場でクレーンを組立てるため、事前調査が重要である。
- ② ワイヤクリップは張力が増加すると緩むが、設置時に十分な締付けとマーキングを行えば増締めを行う必要はない。
- ③ 後方索を定着するアンカー金物は、張力方向に正確に据え付ける。
- ④ トラックケーブルの組立・解体は、おしみロープを用いてワイヤの逸走を防止する。

19) ケーブルエレクション直吊り工法の選定条件について、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

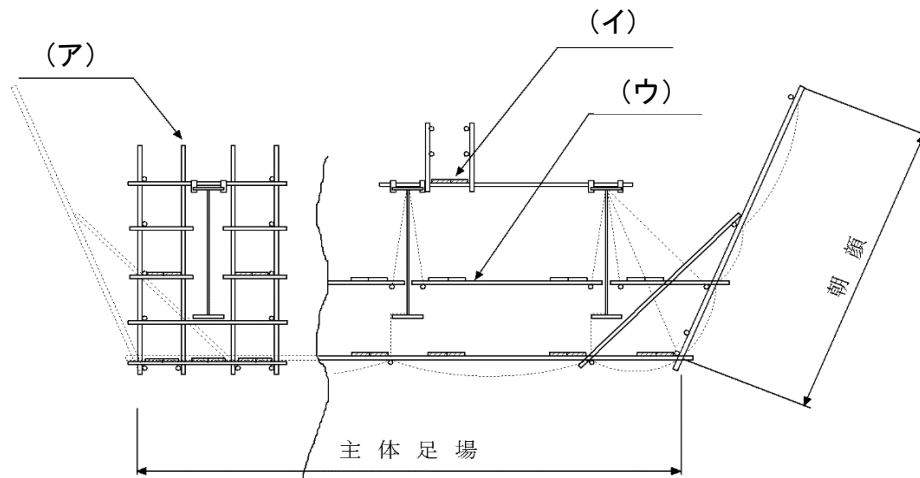
- ① ベントが設置できる。
- ② 直吊り鉄塔設備とアンカーブロックまたはグラウンドアンカーの設置場所は、確保できる。
- ③ 架設地点への搬入路が無く、重機進入が不可である。
- ④ 送出し用地組ヤードが確保できないため、送出し架設は不可能である。

- 21) 大型搬送車による一括架設工法の選定条件について、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

①	ア：小 ウ：汎用機でどこでも入手出来る	イ：大 エ：専用機で組立て検査が必要
②	ア：大 ウ：汎用機でどこでも入手出来る	イ：小 エ：専用機で組立て検査が必要
③	ア：小 ウ：専用機で組立て検査が必要	イ：大 エ：汎用機でどこでも入手出来る
④	ア：大 ウ：専用機で組立て検査が必要	イ：小 エ：汎用機でどこでも入手出来る

- ① ベントの設置が不可能である。
- ② 架設位置付近に橋体の地組ヤードを確保できない。
- ③ 大型搬送車が地組ヤードから架設位置まで走行が可能である。
- ④ 大型クレーンの組立、据付け場所はない。

- 22) 下図の架設足場の名称において、（ア）～（ウ）に当てはまる組合せで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。



解答群

- ① ア：安全通路 イ：部分作業床 ウ：中段足場
- ② ア：部分作業床 イ：安全通路 ウ：中段足場
- ③ ア：安全通路 イ：中段足場 ウ：部分作業床
- ④ ア：中段足場 イ：安全通路 ウ：部分作業床

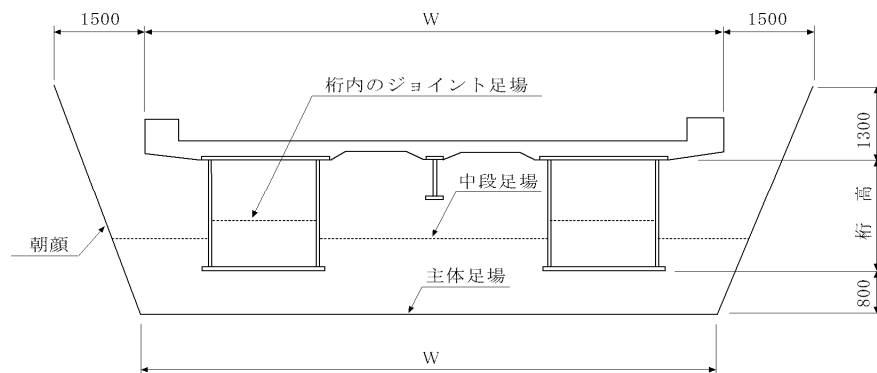
- 23) 足場の種類について、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 安全通路とは、作業者が移動する場合に転落を防止する設備で、「桁架設後通路」は桁架設の完了した後に、作業床設置・高力ボルト締付け・検査等のための通路で橋軸方向及び橋軸直角方向に設ける通路をいう。
- ② 橋脚回り足場とはワイヤブリッジ設置・測量・支承据付作業時に、橋台・橋脚の周辺に設置される「パイプつり足場」や「張出し足場」をいう。
- ③ 中段足場とは、主体足場などの全面足場のほかに局所的に設置する足場をいい、継手部の添接作業や塗装に使用する「ジョイント足場」、トラス・アーチなどの「格点足場」などが含まれる。
- ④ 主体足場とは、桁下全面に設置するつり足場をいい、骨組構造には、桁架設前に設置されたワイヤブリッジをつり上げて転用する「ワイヤブリッジ転用足場」と桁架設後に設ける「パイプつり足場」がある。

24) 足場からの墜落防止措置を検討する際の基本的な考え方について、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 各現場の実情に応じた安全対策を設計、計画段階から検討すること。
- ② リスクアセスメントの観点を踏まえて検討し、実際に足場上で行われている労働者の作業の実態等は考慮しない。
- ③ 作業性の低下や不安全行動等により新たなリスクが誘発されないよう、本質的な安全対策を優先的に採用するよう努めること。
- ④ 検討した対策を適切な管理のもとに総合的に実施すること。

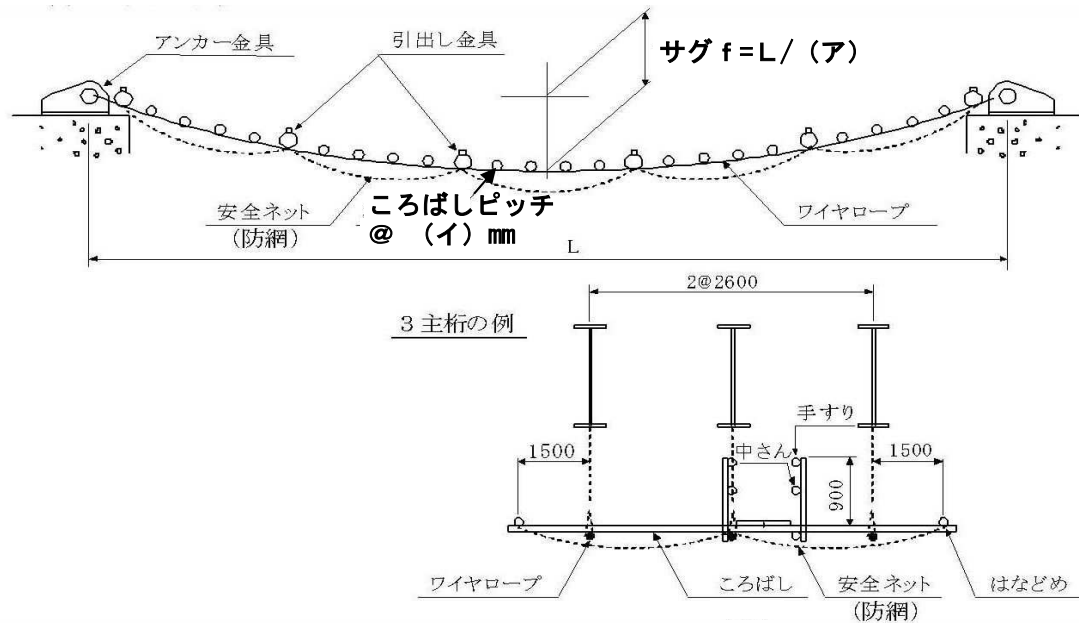
25) 箱桁足場工標準寸法の記述で、（ア）に当てはまる正しいものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。



中段足場は桁高が1.5mを超える場合に設置し、桁高が3.3mを超える場合には、（ア）m増すごとに増設することを標準とする。

- ① 1.5m ② 1.6m ③ 1.7m ④ 1.8m

- 26) ワイヤブリッジの図および記述について、(ア)～(ウ)に該当する数値の組合せで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。

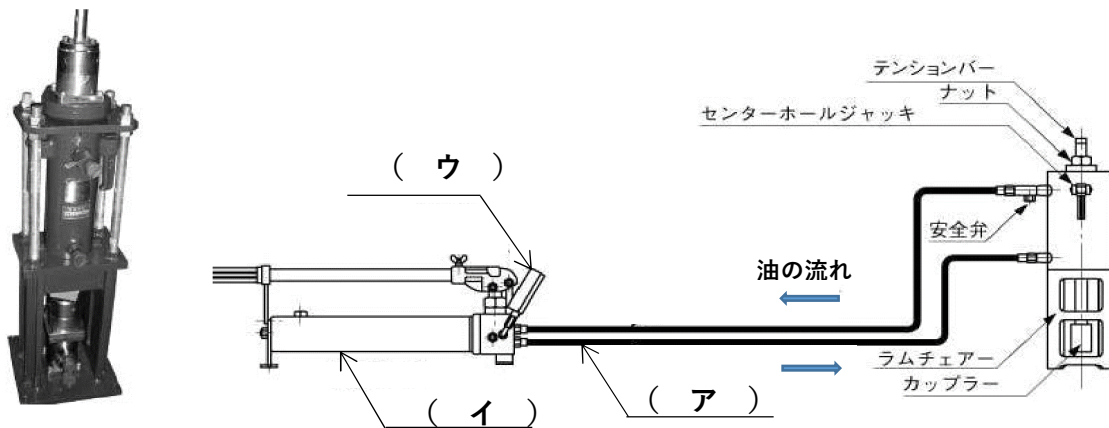


注) ワイヤブリッジの安定性確保のため、ワイヤ本数(ウ)本以上とする。

解答群

- | | | | |
|---|--------|---------|-------|
| ① | ア : 6 | イ : 600 | ウ : 2 |
| ② | ア : 6 | イ : 900 | ウ : 3 |
| ③ | ア : 24 | イ : 900 | ウ : 4 |
| ④ | ア : 12 | イ : 900 | ウ : 3 |

- 27) 下図のセンターホールジャッキの名称において、(ア)～(ウ)に当てはまる名称で正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。



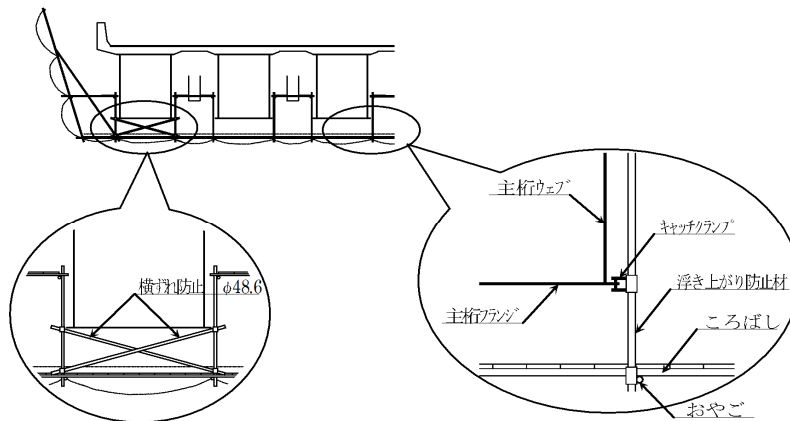
解答群

- | | | | |
|---|--------------|-----------|-----------|
| ① | ア : 戻し側油圧ホース | イ : 手動ポンプ | ウ : 圧力計 |
| ② | ア : 押し側油圧ホース | イ : 手動ポンプ | ウ : 圧力計 |
| ③ | ア : 戻し側油圧ホース | イ : 圧力計 | ウ : 手動ポンプ |
| ④ | ア : 押し側油圧ホース | イ : 圧力計 | ウ : 手動ポンプ |
- 28) ジャッキの種類、用途に関する記述について、正しいものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。
- ① センターホールジャッキは、ジャッキ芯が空洞になっており、ロッドを介して、重量物を吊上げたり、PC鋼線や鋼棒にテンションを導入するとき使用する。
 - ② キャタピラ式送出し装置は、橋桁の横取り時、台車代わりに用いる。
 - ③ スライドジャッキは、PC鋼線をチャック装置で固定し、桁を吊り上げたり、牽引したりする装置で、チャックは上下についており、ジャッキ伸長と盛替えを繰り返しながら作動する機構となっている。
 - ④ クレビス付ジャッキは、補修工事における支承取替時の仮受け作業に用いる。

- 29) 足場崩壊の事例から、事故防止対策として誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

高架橋の建設現場で、台風による強風にあおられて吊足場の作業床が飛散した。事故当日、現場近辺の最大風速（10分間平均）は35m/sであった。

足場の損傷状況や現場近辺の実測値から風向・風速を推定し、作業床の飛散メカニズムを風洞実験で検証した。その結果、風向きが橋軸に対して30～50度の範囲で、吊足場の作業床に上向きの風荷重が生じることがわかった。そのメカニズムは、橋脚に遮られてよどんだ風が後から吹いてくる風に当たって圧縮され、その際に生じる風圧によって作業床が押し上げられ飛散したというものであった。



- ① 単管パイプを介して、足場の作業床と主桁の下フランジを連結する。
- ② 風荷重は架設地域、地形、既設を考慮して設定する。
- ③ 鉄道や道路などの重要な交差部でも、通常の地域と同じ設計風速を設定する。
- ④ 吊足場の作業床に作用する上向きの荷重にも耐えられるように吊足場を補強する。

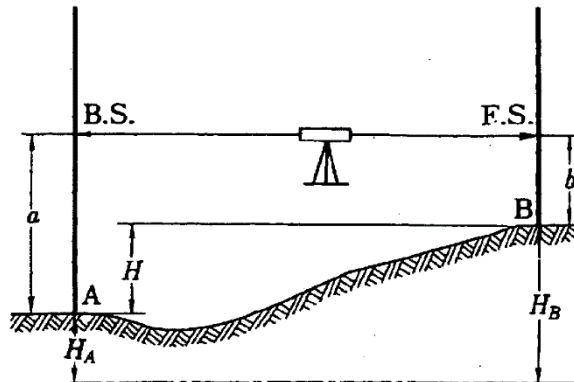
30) 橋梁工事の測量に関する記述で、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 架設時の測量は、適切な手法・機器を用いて、必要な精度を確保するために、施工の各段階で実施する。
- ② 上部構造物の中心線と、それぞれの下部構造物の中心線との誤差を測定し、上部構造物の据付位置を決定する。
- ③ 所定の位置に正しく設置するための測量は、工場で製作された構造物の寸法を、工場仮組立記録書等により確認するとともに、上部構造物の据付位置を測定し、基礎構造物の位置を決定する。
- ④ 測量機器にはトランシット、レベル、光波測距儀等があるが、最近では、GPS測量が発達し、長距離測量に精度の高い数値が短時間に得られるようになった。

31) 水準測量において（ ）に当てはまる正しいものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

点Aの地盤高 H_A が5.432mと既知の場合、レベルにて視準した点Aと点Bに立てた箱尺の読みが、 a が2.334m、 b が1.221mならば点Aの地盤高 H_B は（ ）となる。

- ① 6.545m
- ② 4.319m
- ③ 1.877m
- ④ 8.987m



工程計画・作業手順の問題

- 32) 施工計画の目的について、（ ア ） 、 （ イ ） に当てはまる組合せで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。

施工計画の目的は、契約書・図書に基づいて該当の橋梁を（ ア ） かつ（ イ ） な施工で、所定の工期限内に収めるための方法を決めることである。

解答群

- | | | |
|---|-------|-------|
| ① | ア：高品質 | イ：高技術 |
| ② | ア：安全 | イ：高技術 |
| ③ | ア：安全 | イ：経済的 |
| ④ | ア：高品質 | イ：経済的 |

- 33) 工程計画について、（ ア ） 、 （ イ ） に当てはまる組合せで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。

工程計画の直接の目的は工期の確保であるが、工事の進め方（工法、（ ア ） 、 機材日程）を決める計画でもあるので、工事の安全、（ イ ） 、 コストはこれによって決まると言える。

解答群

- | | | |
|---|--------|--------|
| ① | ア：人員 | イ：施工速度 |
| ② | ア：作業時間 | イ：品質 |
| ③ | ア：人員 | イ：品質 |
| ④ | ア：作業時間 | イ：施工速度 |

- 34) 作業手順に関する記述について、（ ア ） 、 （ イ ） に当てはまる組合せで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。

現場での災害の原因を調べてみると、設備や環境などの不安全な（ ア ） によるものと、作業員の不安全な（ イ ） によるものが組合わされて発生している。

解答群

- | | | |
|---|--------|--------|
| ① | ア：状態 | イ：行動 |
| ② | ア：施工計画 | イ：作業手順 |
| ③ | ア：工程 | イ：品質管理 |
| ④ | ア：コスト | イ：施工速度 |

- 35) 工程図表に関する記述について、（ ア ） 、 （ イ ） に当てはまる組合せで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。

工程図表の特徴は、下記のとおりである。

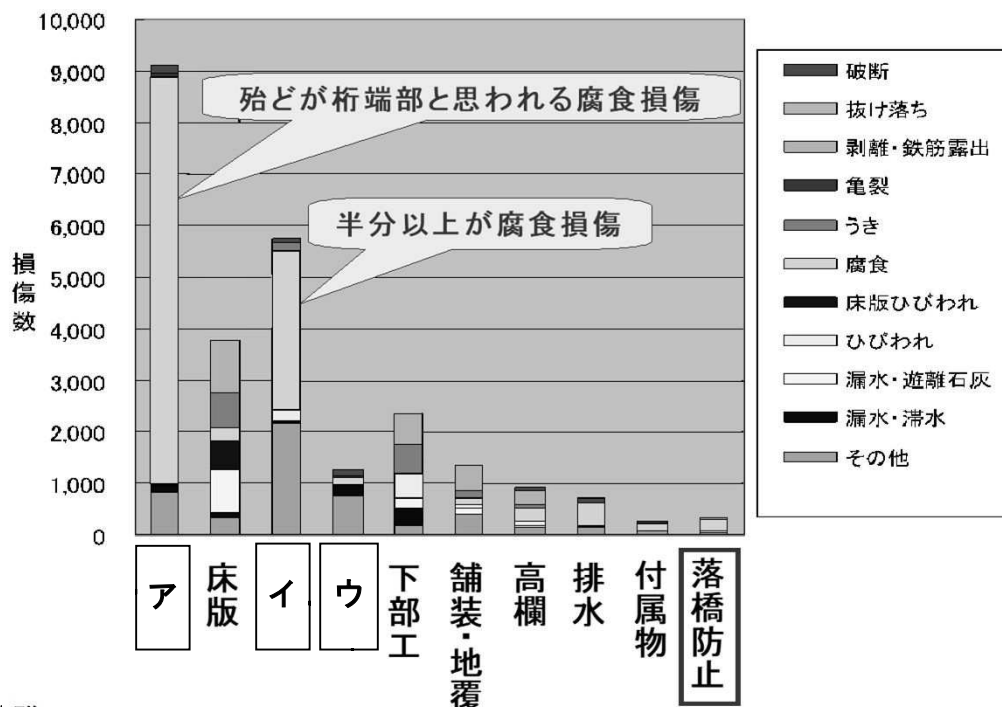
- ・ グラフ式工程表の特徴は、（ ア ） 。
- ・ ネットワーク式工程表の特徴は、（ イ ） 。

解答群

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ① ア：作業の進捗が明確に示せる | イ：作業に要する日数が分かりやすい |
| ② ア：作業に要する日数が分かりやすい | イ：作業の進捗が明確に示せる |
| ③ ア：作業の手順関係が明確に示せる | イ：作業に要する日数が分かりやすい |
| ④ ア：作業の進捗が明確に示せる | イ：作業の手順関係が明確に示せる |

維持・補修の問題

- 36) 以下のグラフは鋼橋の箇所別損傷数を示したものである。以下のグラフで（ア）～（ウ）に当てはまる組合せで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。

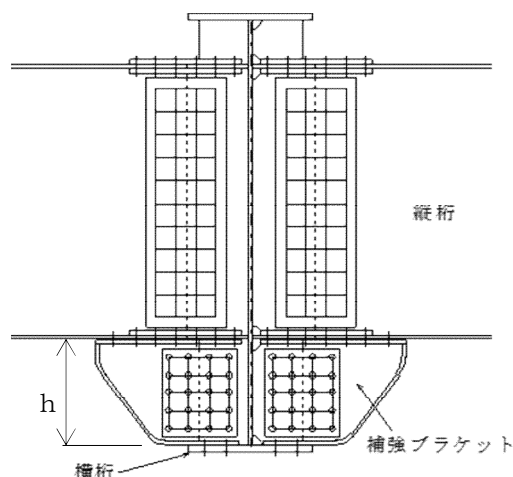


解答群

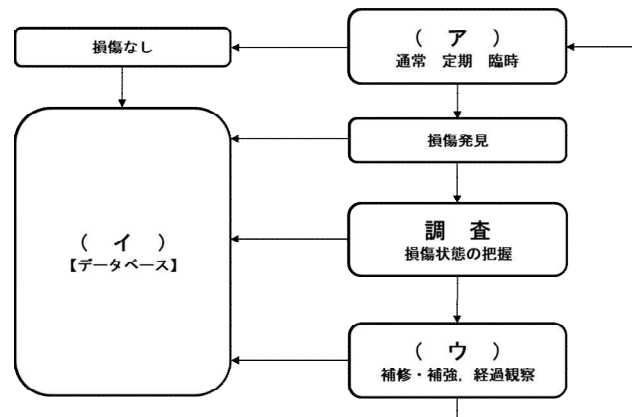
- | | | |
|----------|--------|--------|
| ① ア：主桁 | イ：伸縮装置 | ウ：支承 |
| ② ア：主桁 | イ：支承 | ウ：伸縮装置 |
| ③ ア：支承 | イ：主桁 | ウ：伸縮装置 |
| ④ ア：伸縮装置 | イ：主桁 | ウ：支承 |

- 37) 製作誤差がある既設構造物に下図のような補強ブラケットを取り付ける際、寸法hの誤差吸収方法の記述として正しいものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 補強ブラケットは図面寸法通り製作し、大きかった場合、既設構造物をグラインダーで削る。
- ② 補強ブラケットは図面寸法通り製作し、大きかった場合、補強ブラケットをグラインダーで削る。
- ③ 補強ブラケットは図面寸法通り製作し、誤差が発生した場合は、補強ブラケットを再製作する。
- ④ あらかじめ補強ブラケットを小さく製作し、フィラープレートを追加設置する。



- 38) 鋼橋の維持管理・保全の概念図において、以下の（ア）～（ウ）に当てはまる組合せで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。



解答群

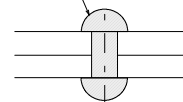
- | | | |
|--------|------|------|
| ① ア：点検 | イ：記録 | ウ：対策 |
| ② ア：点検 | イ：対策 | ウ：記録 |
| ③ ア：記録 | イ：対策 | ウ：点検 |
| ④ ア：記録 | イ：点検 | ウ：対策 |

- 39) 「リベット撤去工」についての以下の記述で、（ア）、（イ）に当てはまる組合せで正しいものを解答群①～④より選択し、その番号で答えなさい。

リベットの撤去作業は、ガス切断による方法とコアドリルによる方法がある。
（ア）による方法は、リベット撤去時に（イ）が不要なため、母材に与える影響が少ない。

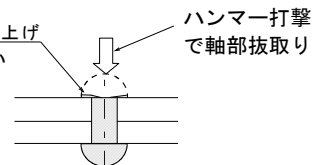
リベット撤去手順

ガス切断 または
コアドリルで頭を撤去



ガス切断の場合

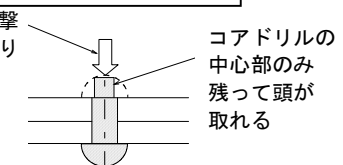
グラインダーで仕上げ
* 母材を傷めない
よう若干残す



コアドリルの場合

ハンマー打撃
で軸部抜取り

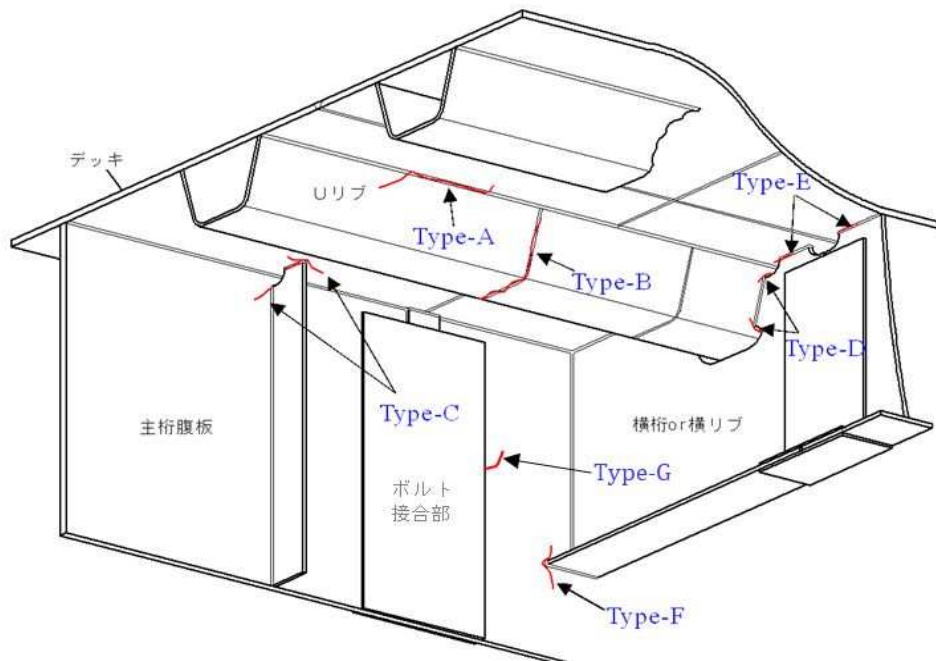
コアドリルの
中心部のみ
残って頭が
取れる



解答群

- | | |
|-----------|------|
| ① ア：コアドリル | イ：入熱 |
| ② ア：コアドリル | イ：加圧 |
| ③ ア：ガス切断 | イ：加圧 |
| ④ ア：ガス切断 | イ：入熱 |

- 40) 「鋼床版疲労亀裂」についての下図で、発生する可能性のないものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。



- ① Type-B (トラフリブ現場突合せ溶接部)
- ② Type-A (Uリブ・デッキ溶接部)
- ③ Type-G (主桁腹板ボルト接合部)
- ④ Type-D (Uリブ・横リブ溶接部)

共通テキストの問題

- 41) 公共工事の品質確保の促進に関する法律（「品確法」）の目的及び基本理念の追加事項に関する記述のうち、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。
- ① 公共工事の品質確保の担い手の中長期的な確保・育成の促進。
 - ② 施工技術の維持向上とそれを有する者の中長期的な確保・育成。
 - ③ 点検・診断等による解体工事と別途新設工事の推進。
 - ④ 災害対応を含む地域維持の担い手確保への配慮。
- 42) 建設キャリアアップシステムのメリットに関する次の記述のうち、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。
- ① 技能者のメリットとしては、現場や勤務先が変わっても、自らの能力を客観的に証明が可能である。
 - ② 下請け業者のメリットとしては、自社が雇用する技能者の数や保有資格、社会保険加入状況等が明らかになり、取引先からの信頼が得やすくなる。
 - ③ 元請業者等のメリットとしては、PCで進捗状況の確認や下請への支払いの適正化などの現場管理の効率化が期待できる。
 - ④ 増える外国人労働者の資格等にはまだ対応していないのが現状である。
- 43) 職場の上司が部下の育成のために、日常の作業を通して行う指導・教育であるOJTに関する次の記述のうち、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。
- ① 片手間にとか暇があるから行うという考え方ではなく、仕事そのものであるという認識が必要である。
 - ② 部下の能力レベルに合わせるのではなく、高いレベルの目標に挑戦させることが必要である。
 - ③ 通常の仕事のペースを落とさず、仕事とOJTとの高いレベルでの調和が必要である。
 - ④ 部下が組織外の実態、考え方などに触れて視野を拡大できる機会を設けることが必要である。

- 44) OJTを進める上で重要なポイントは、教える相手に対して、何をどの程度教えるか把握したうえで指導することである。「目標の設定」に関する次の記述のうち、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。
- ① 設定期間終了時に評価が可能であること。
 - ② 定量的で具体的であること。
 - ③ 部下が意欲をもって取り組めるものであること。
 - ④ 部下の個別の目標でなく統一した目標であること。
- 45) 建設業の労働災害発生件数は今から半世紀前の昭和45年(1970年)には死亡者数が2430人であったが、令和2年(2020年)には258人とこの半世紀で9割減少した。「労働災害減少の要因として考えられるもの」に関する次の記述のうち、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。
- ① 労働安全衛生法等、安全関係法規の整備。
 - ② 安全に作業するための機械、設備、工具等の開発。
 - ③ 刑事責任、民事賠償責任、行政責任等の事業者責任の明確化。
 - ④ 効果的な安全教育の実施等による建設現場従事者の安全意識の向上と現場安全活動の定着。
- 46) 「建設工事費の構成」に関する次の記述のうち、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。
- ① 共通仮設費とは、各工事種目に共通の仮設に要する費用であり、現場事務所や仮囲いにかかる費用やさまざまな準備費を指す。
 - ② 現場管理費とは、工事現場を管理運用するために必要な費用であり、現場従業員の給与手当等労務管理等にかかる費用を指す。
 - ③ 直接工事費とは、工事目的物を作るのに直接要する費用である。
 - ④ 一般管理費とは、工事施工にあたる受注者の継続運営に必要な費用(本支店経費)であり、企業の付加利益は含まない。

47) 見積で内訳明示する法定福利費の範囲「保険料の内、現場労働者（技能労働者）の事業主（会社）負担分」に含まれないものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 健康保険料（介護保険料を含む）
- ② 生命保険料
- ③ 厚生年金保険料（児童手当拠出金含む）
- ④ 雇用保険料

48) 建設物の設計品質および施工品質に関する次の記述のうち、誤っているものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 発注者自身も関わって設計段階で定められたものが「設計品質」であり、ねらいの品質とも言われている。
- ② 施工の実態やコスト等を考慮して無理なく実現できるよう施工者が決定するものが「施工品質」であり、出来栄えの品質とも言われている。
- ③ 施工品質を確保・向上させるためには、可能な範囲で作業の標準化が必要であり、それを文書化したのが「作業標準書」である。
- ④ 総合建設業者は、「工種別施工計画」や「工種別施工要領」で具体的な施工方法を計画し、その通り施工することを発注者に約束する。

49) 労働安全衛生法には「作業員が守らなければならない6つの義務が定められている」。次の記述のうち、6つの義務に含まれないものを①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 安全状態を保つ義務
- ② 保護具の着用・使用義務
- ③ 危険行動の禁止義務
- ④ 定期自主検査の義務

50) ひとたび労働災害が発生すれば、協力会社の経営者には事業者責任を負うことになる。
次の記述のうち、事業者責任に**含まれないもの**を①～④より選択し、その番号で答えなさい。

- ① 刑事責任
- ② 民事損害賠償責任
- ③ 連帯責任
- ④ 行政責任

受講番号
2025-

採 点 欄

※この欄には記入しないでください

登録橋梁基幹技能者講習 2025年度試験問題の解答用紙

安全管理の問題 1) ～10)

問 題	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)
解 答	①	③	④	③	④	③	④	①	②	②

架設概論の問題 11) ～31)

問 題	11)	12)	13)	14)	15)	16)	17)	18)	19)	20)
解 答	②	③	①	②	①	④	②	②	①	③

問 題	21)	22)	23)	24)	25)	26)	27)	28)	29)	30)
解 答	②	②	③	②	④	④	②	①	③	③

工程計画・作業手順の問題、維持・補修の問題 32) ～40)

問 題	31)	32)	33)	34)	35)	36)	37)	38)	39)	40)
解 答	①	③	③	①	④	②	④	①	①	③

共通テキスト問題 41) ～50)

問 題	41)	42)	43)	44)	45)	46)	47)	48)	49)	50)
解 答	③	④	②	④	③	④	②	④	④	③